

令和3年3月12日

保護者様

さいたま市立つばさ小学校
校長 高田 信太郎

令和2年度 学校アンケートの結果について(お知らせ)

早春の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素から本校の教育活動に御理解・御協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、昨年12月に保護者の皆様にご提出いただいた「学校アンケート」の結果が、下記の通りまとまりましたのでお知らせします。全体的には、良好な評価をいただいておりますが、アンケートの結果を真摯に受け止め、来年度の学校経営に生かしてまいります。今後とも、御理解・御協力のほど、お願いいたします。

表・グラフの見方(数字は%)

A	B	C	D
---	---	---	---

A:よく当てはまる B:だいたい当てはまる C:あまり当てはまらない D:全く当てはまらない

【あかるく】明るくやさしい心の育成(徳)

質問1	児童 保護者 教職員	学校生活は、充実して楽しいですか。 お子さんは、楽しく充実した学校生活を送っている。 児童は、楽しく充実した学校生活を送っている。
	A B C D	児童 70 25 3 2 保護者 59 38 2 1 教職員 43 55 2 0
質問2	児童 保護者 教職員	あなたは、自分や友達を大切に生活していますか。 学校は、道徳教育、人権教育、生命尊重教育を推進し、児童に思いやりの心をはぐくんでいる。 教職員は、道徳教育、人権教育、生命尊重教育を推進し、児童に思いやりの心をはぐくんでいる。
	A B C D	児童 79 20 1 0 保護者 38 60 1 0 教職員 47 53 0 0
質問3	児童 保護者 教職員	あなたは、いじめのない学校、学級にしようと努力していますか。 学校は、いじめ防止基本方針に基づき、いじめのない学校づくりに真剣に取り組んでいる。 教職員は、いじめ防止基本方針に基づき、いじめの防止、早期発見、早期対応に組織的に取り組んでいる。
	A B C D	児童 61 32 6 1 保護者 39 58 3 0 教職員 58 40 2 0
質問4	児童 保護者 教職員	あなたは、悩みや困ったり悩んだりした場合、先生に相談しやすいですか。 学校は、お子さんや保護者からの相談について、誠実に、適切に対応している。 教職員は、子どもや保護者からの相談などについて、誠実に、適切に対応し、解決を図っている。
	A B C D	児童 49 31 14 7 保護者 51 46 3 0 教職員 56 40 4 0
質問5	児童 保護者 教職員	あなたは、つばさ子のやくそくを守って生活していますか。 学校は、生活指導を適切に行い、児童にルールやマナーを守ろうとする態度をはぐくんでいる。 教職員は、適切に生活指導を行い、児童にルールやマナーを守ろうとする態度をはぐくんでいる。
	A B C D	児童 64 30 5 1 保護者 50 48 2 0 教職員 50 46 4 0

○ほとんどの質問について「肯定的な回答(A+B)」の割合が90%を超え、良好な結果となっております。児童の明るく優しい心の育成に向け本校で推進している「道徳教育」「人権教育」「生命尊重教育」等の教育活動やいじめ防止への取組、教育相談、「つばさ子の約束」を基にした生活指導等が成果を挙げていると考えております。

○質問4については、児童の「肯定的な回答」の割合が80%と他に比べ、低い結果となっております。①人間関係プログラム、「いのちの支え合い」を学ぶ授業等の充実を図り、悩みを解決、相談するスキルを高めること、②教育相談週間や教育相談月間の充実、アンケート結果を基にした面談、積極的な声掛け等、気軽に、誰にでも相談できる体制、雰囲気をつくること、③児童の悩みに誠実に向き合い、保護者と共通理解を図り連携しながら迅速に解決に当たり信頼関係を築くとともに、相談することのよさを伝えること、④不安や悩みに対し、校内人材の適切な活用と関係機関との連携を図りながら解決に当たることなど、引き続き、全教職員一丸となって教育相談体制の充実に努めてまいります。

【記述欄より】

○質問1に関連して、「毎日楽しく登校している」「子どもの成長が感じられ、充実していることがうかがえる」など、子どもたちの学校生活が充実していると考えられる声を多数いただきました。反面、「学校は忙しくてゆとりがない」「子どものペースに合わせた対応をお願いしたい」という声をいただきました。教育計画に基づいて、無理のない教育活動を展開していきます。

○質問3・4に関連して、問題や相談への対応に対して「真摯に受け止めてくれた」「学校全体のフォロー体制に感謝しています」などの声を多数いただきました。また、「子どもに寄り添った対応をお願いしたい」などの声もいただきました。問題へ迅速、誠実に適切に対応するとともに、未然防止やアフターケアにも全力で取り組んでまいります。

【つよく】強く健康な体の育成

質問1	児童 保護者 教職員	あなたは、体育や休み時間、昼休みなどで体をよく動かしていますか。 学校は、体育授業の充実や業間、昼休みの確保により、児童の体力向上に努めている。 教職員は、体育授業の充実や業間、昼休みの確保により、児童の体力を向上させている。																																				
	児童 保護者 教職員	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>61</td> <td>25</td> <td>11</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>39</td> <td>54</td> <td>7</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>36</td> <td>58</td> <td>6</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>児童</th> <th>保護者</th> <th>教職員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>61</td> <td>25</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>39</td> <td>54</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>36</td> <td>58</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>		A	B	C	D	児童	61	25	11	3	保護者	39	54	7	0	教職員	36	58	6	0		児童	保護者	教職員	児童	61	25	11	保護者	39	54	7	教職員	36	58	6
	A	B	C	D																																		
児童	61	25	11	3																																		
保護者	39	54	7	0																																		
教職員	36	58	6	0																																		
	児童	保護者	教職員																																			
児童	61	25	11																																			
保護者	39	54	7																																			
教職員	36	58	6																																			
質問2	児童 保護者 教職員	あなたは、病気やけがなど、健康や安全に気を付けて生活していますか。 学校は、保健指導や安全教育等の充実を図り、児童の健康・安全に対する意識や態度をはぐくんでいる。 教職員は、保健指導や安全教育等の充実を図り、児童の健康・安全に対する意識・態度をはぐくんでいる。																																				
	児童 保護者 教職員	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>75</td> <td>21</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>44</td> <td>53</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>53</td> <td>47</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>児童</th> <th>保護者</th> <th>教職員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>75</td> <td>21</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>44</td> <td>53</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>53</td> <td>47</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		A	B	C	D	児童	75	21	3	1	保護者	44	53	2	0	教職員	53	47	0	0		児童	保護者	教職員	児童	75	21	3	保護者	44	53	2	教職員	53	47	0
	A	B	C	D																																		
児童	75	21	3	1																																		
保護者	44	53	2	0																																		
教職員	53	47	0	0																																		
	児童	保護者	教職員																																			
児童	75	21	3																																			
保護者	44	53	2																																			
教職員	53	47	0																																			
質問3	児童 保護者 教職員	あなたは、バランスの良い食事をとる、早寝・早起き・朝ごはんなど、規則正しい生活をしていますか。 学校は、食育、早寝・早起き・朝ごはんの取組等を推進し、児童の基本的な生活習慣づくりに努めている。 教職員は、食育や早寝・早起き・朝ごはん等の推進を通して、児童の基本的な生活習慣の定着を図っている。																																				
	児童 保護者 教職員	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>51</td> <td>38</td> <td>9</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>43</td> <td>52</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>36</td> <td>58</td> <td>6</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>児童</th> <th>保護者</th> <th>教職員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>51</td> <td>38</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>43</td> <td>52</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>36</td> <td>58</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>		A	B	C	D	児童	51	38	9	2	保護者	43	52	5	0	教職員	36	58	6	0		児童	保護者	教職員	児童	51	38	9	保護者	43	52	5	教職員	36	58	6
	A	B	C	D																																		
児童	51	38	9	2																																		
保護者	43	52	5	0																																		
教職員	36	58	6	0																																		
	児童	保護者	教職員																																			
児童	51	38	9																																			
保護者	43	52	5																																			
教職員	36	58	6																																			
○ほとんどの質問について「肯定的な回答」の割合が90%を超え、良好な結果となっております。体育授業や休み時間等、体を動かす機会の確保、保健指導や安全教育の推進、給食週間を活用した食育、つばさっ子生活カード等の取組を通して、児童の強く健康な体の育成が進んでいると考えております。 ○今年度も「けがマップ」の取組を進めております。保健室来室記録を基に「けがが発生した場所」、「けがの種類」をけがマップにまとめ、けがの防止について考えることを通して、安全意識の向上を図っております。 ○質問1、3については、児童の肯定的な回答がやや低い結果となっております。体育授業の活動内容や遊び方の工夫をするとともに保健指導、給食指導、学級活動等、児童への指導の充実や、保健だより、給食だより等を通じて家庭との連携をさらに深めるなど、児童の基本的な生活習慣の定着に努めてまいります。																																						
【記述欄より】																																						
○質問1に関連して、「持久走大会や縄跳び大会等ができればいいのではないか」「工夫いただいているが、校庭で思い切り遊ばせたい」という意見をいただきました。今年度については、新型コロナウイルス感染予防対策のマニュアル等に則りながら、児童の発達段階、健康・安全への配慮など、様々な点について検討し対応してまいりました。来年度以降につきましてもよりよく活動ができるよう、検討してまいります。																																						

【かしこく】確かな学力の育成

質問1	児童 保護者 教職員	あなたは、一生懸命授業に取り組んでいますか。 学校は、指導方法を工夫して児童が意欲的に取り組む授業を行っている。 教職員は、「新さいたま市の授業づくり」に基づき学習指導を工夫した授業づくりに努めている。																																				
	児童 保護者 教職員	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>71</td> <td>25</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>41</td> <td>56</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>40</td> <td>58</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>児童</th> <th>保護者</th> <th>教職員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>71</td> <td>25</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>41</td> <td>56</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>40</td> <td>58</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		A	B	C	D	児童	71	25	3	1	保護者	41	56	3	0	教職員	40	58	2	0		児童	保護者	教職員	児童	71	25	3	保護者	41	56	3	教職員	40	58	2
	A	B	C	D																																		
児童	71	25	3	1																																		
保護者	41	56	3	0																																		
教職員	40	58	2	0																																		
	児童	保護者	教職員																																			
児童	71	25	3																																			
保護者	41	56	3																																			
教職員	40	58	2																																			
質問2	児童 保護者 教職員	あなたは、授業の内容がよく分かりますか。 学校は、学年に応じた基礎的基本的な学力が身に付く授業を行っている。 教職員は、個に応じた指導の充実や、基礎的基本的な学力の定着を図る授業を行っている。																																				
	児童 保護者 教職員	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>71</td> <td>26</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>35</td> <td>63</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>35</td> <td>65</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>児童</th> <th>保護者</th> <th>教職員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>71</td> <td>26</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>35</td> <td>63</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>35</td> <td>65</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		A	B	C	D	児童	71	26	2	1	保護者	35	63	2	0	教職員	35	65	0	0		児童	保護者	教職員	児童	71	26	2	保護者	35	63	2	教職員	35	65	0
	A	B	C	D																																		
児童	71	26	2	1																																		
保護者	35	63	2	0																																		
教職員	35	65	0	0																																		
	児童	保護者	教職員																																			
児童	71	26	2																																			
保護者	35	63	2																																			
教職員	35	65	0																																			
質問3	児童 保護者 教職員	あなたは、自分で考えたり、考えたことを伝え合ったりする学習に進んで取り組んでいますか。 学校は、児童の考える力や表現力を高める授業を行っている。 教職員は、児童の思考力や表現力を高める授業を行っている。																																				
	児童 保護者 教職員	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>56</td> <td>35</td> <td>8</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>37</td> <td>56</td> <td>6</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>35</td> <td>63</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>児童</th> <th>保護者</th> <th>教職員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>56</td> <td>35</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>37</td> <td>56</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>35</td> <td>63</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		A	B	C	D	児童	56	35	8	1	保護者	37	56	6	1	教職員	35	63	2	0		児童	保護者	教職員	児童	56	35	8	保護者	37	56	6	教職員	35	63	2
	A	B	C	D																																		
児童	56	35	8	1																																		
保護者	37	56	6	1																																		
教職員	35	63	2	0																																		
	児童	保護者	教職員																																			
児童	56	35	8																																			
保護者	37	56	6																																			
教職員	35	63	2																																			
○どの質問についても「肯定的な回答」の割合が90%を超え、良好な結果となっております。本年度も引き続き「よい授業」の実践に取り組み、児童への授業アンケートや教員相互の授業参観を通して指導方法を検討し、授業改善に取り組んでいる成果が表れていると考えております。 ○算数科を研究教科に設定し、教育委員会指導主事等を招いて授業研究を行い、児童の思考力や表現力を高めることで、「主体的・対話的で深い学び」となる授業づくりに取り組んでいることも確かな学力の育成につながっていると考えております。 ○本年度からの「さいたまSTEAMS教育」研究指定校として、教育委員会、研究指定グループ校と連携を図りながら、研究推進に努めております。																																						
【記述欄より】																																						
○質問1・2に関連して、「子どもや授業への適切な対応がありがたい」など、好評価をいただきました。「宿題量など学年内のばらつきが気になる」などの意見もいただきました。学年内で共通理解を図り、児童の実態に即した量などを検討し、取り組んでまいります。																																						

【コミュニケーション】人と仲よくかわる力の育成

質問1	児童 保護者 教職員	あなたは、「おはよう」「はい」「ありがとう」「ごめんなさい」など、進んであいさつや返事をしていますか。 学校は、「おはよう」「はい」「ありがとう」「ごめんなさい」など、児童に進んであいさつや返事のできる態度をはぐくんでいる。 教職員は、心を潤す4つの言葉を推進し、児童に進んであいさつや返事のできる態度をはぐくんでいる。																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>65</td> <td>26</td> <td>8</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>45</td> <td>51</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>41</td> <td>55</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		A	B	C	D	児童	65	26	8	1	保護者	45	51	4	0	教職員	41	55	4	0	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>児童</th> <th>保護者</th> <th>教職員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>65</td> <td>26</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>45</td> <td>51</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>41</td> <td>55</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>		児童	保護者	教職員	児童	65	26	8	保護者	45	51	4	教職員	41	55	4
	A	B	C	D																																		
児童	65	26	8	1																																		
保護者	45	51	4	0																																		
教職員	41	55	4	0																																		
	児童	保護者	教職員																																			
児童	65	26	8																																			
保護者	45	51	4																																			
教職員	41	55	4																																			
質問2	児童 保護者 教職員	あなたは、GSや人間関係プログラム、クラブや委員会（高学年）等で進んでいる人にかかわっていますか。 学校は、授業を中心とした学校生活全般において、児童にコミュニケーションの意欲や能力をはぐくんでいる。 教職員は、授業を中心とした学校生活全般において、児童にコミュニケーションの意欲や能力をはぐくんでいる。																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>55</td> <td>33</td> <td>9</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>40</td> <td>56</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>42</td> <td>56</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		A	B	C	D	児童	55	33	9	2	保護者	40	56	4	0	教職員	42	56	2	0	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>児童</th> <th>保護者</th> <th>教職員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>55</td> <td>33</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>40</td> <td>56</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>42</td> <td>56</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		児童	保護者	教職員	児童	55	33	9	保護者	40	56	4	教職員	42	56	2
	A	B	C	D																																		
児童	55	33	9	2																																		
保護者	40	56	4	0																																		
教職員	42	56	2	0																																		
	児童	保護者	教職員																																			
児童	55	33	9																																			
保護者	40	56	4																																			
教職員	42	56	2																																			

〇どの質問についても「肯定的な回答」が90%を超え、良好な結果となっております。学校として、心を潤す4つの言葉を推進し、あいさつや返事を大切にしていること、人との関わり方やコミュニケーションの方法を学ぶGSや人間関係プログラムの実施により、コミュニケーションを広げる機会を設けていることが高評価につながったと考えております。

【記述欄より】

〇質問1に関連して、来校した際に「あいさつしてくれる子が少ない」という声をいただきました。まず、教職員から率先してあいさつをすることを継続するとともに、家庭と連携しながら、あいさつをはじめとする「心を潤す4つの言葉」を、場に応じて使うことができる児童の育成に努めてまいります。

〇質問2に関連して、「コロナ禍の中で、工夫をして対応している」という声をいただきました。今後も、様々な活動や場面を通して、コミュニケーション力の育成に努めてまいります。

施設・設備

質問1	保護者 教職員	学校は、教室や各施設などの環境を整えられ、きれいで活用しやすい学校づくりに努めている。 学校は、教室や各施設などの環境を整え、きれいで活用しやすい学校づくりに努めている。																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>59</td> <td>39</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>64</td> <td>36</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		A	B	C	D	保護者	59	39	2	0	教職員	64	36	0	0	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>保護者</th> <th>教職員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>59</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>64</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table>		保護者	教職員	保護者	59	39	教職員	64	36
	A	B	C	D																						
保護者	59	39	2	0																						
教職員	64	36	0	0																						
	保護者	教職員																								
保護者	59	39																								
教職員	64	36																								
質問2	保護者 教職員	学校は、児童の事故防止に努め、施設・設備の安全に配慮している。 学校は、児童の事故防止に努め、施設・設備の安全に配慮している。																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>54</td> <td>45</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>66</td> <td>34</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		A	B	C	D	保護者	54	45	1	0	教職員	66	34	0	0	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>保護者</th> <th>教職員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>54</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>66</td> <td>34</td> </tr> </tbody> </table>		保護者	教職員	保護者	54	45	教職員	66	34
	A	B	C	D																						
保護者	54	45	1	0																						
教職員	66	34	0	0																						
	保護者	教職員																								
保護者	54	45																								
教職員	66	34																								

〇質問1・2について「肯定的な回答」が98%を超え、大変良好な結果となっております。廊下・階段・教室等の掲示板や展示コーナーを活用して児童の学びや生活を豊かに広げる美しい掲示の工夫をしていること、毎月の施設・設備の定期安全点検、毎日の校庭遊具点検の実施など、各教職員が不断に施設の異常の有無を確認して施設の瑕疵による事故防止に努めていること等が高評価につながったと考えております。

〇開校12年目となりますが、引き続き、施設設備の環境整備、安全点検等の取組を継続し、施設設備の有効活用、児童の事故防止に努めてまいります。

【記述欄より】

〇質問2に関連して、「工夫して校庭を使っているが、思い切り遊ばせたい」という声をいただきました。今後も授業だけでなく、休み時間等も含めた全教育活動に安全第一で取り組んでまいります。

家庭・地域との連携

質問1	保護者 教職員	学校は、保護者、地域の方々と連携を図りながら、地域に根差した学校づくりに努めている。 学校は、保護者、地域の方々と連携を図りながら、地域に根差した学校づくりに努めている。																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>47</td> <td>53</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		A	B	C	D	保護者	45	50	5	0	教職員	47	53	0	0	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>保護者</th> <th>教職員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>45</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>47</td> <td>53</td> </tr> </tbody> </table>		保護者	教職員	保護者	45	50	教職員	47	53
	A	B	C	D																						
保護者	45	50	5	0																						
教職員	47	53	0	0																						
	保護者	教職員																								
保護者	45	50																								
教職員	47	53																								
質問2	保護者 教職員	学校は、学校だよりや学年だより、Webページ等を通じて、保護者に必要な情報を伝えている。 学校は、学校だよりや学年だより、Webページ等を通じて、保護者に必要な情報を伝えている。																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>44</td> <td>47</td> <td>8</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>60</td> <td>40</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		A	B	C	D	保護者	44	47	8	1	教職員	60	40	0	0	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>保護者</th> <th>教職員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>44</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>60</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>		保護者	教職員	保護者	44	47	教職員	60	40
	A	B	C	D																						
保護者	44	47	8	1																						
教職員	60	40	0	0																						
	保護者	教職員																								
保護者	44	47																								
教職員	60	40																								

〇質問1・2について「肯定的な回答」が90%を超え、良好な結果となっております。今年度は、定期の授業参観・懇談会をはじめ、行事も中止となり、保護者、地域の皆様に学校での子どもたちの様子を公開する機会が減り、学校だより、学年だより、各種だよりや安心メールを通じてのお伝えになりました。今後も、コロナウイルス感染症の状況等に応じ、公開方法や情報発信について工夫してまいります。

【記述欄より】

〇質問2に関連して、「参観・懇談会等がなく学校での子ども様子が分かりにくい」という声をいただきました。今後も状況に応じた公開方法や情報発信に努めてまいります。

学校関係者評価委員会における委員の意見等

【令和3年2月26日実施 第3回学校関係者評価委員会（書面開催）】

- (1) 児童の様子について
 - ・各教室で児童が安心して学習に取り組んでいる。落ち着いた雰囲気の中で学校生活を送れている。
 - ・切り替えが早い。自分がやるべきことが分かり、行動できている。
- (2) 学習指導について
 - ・教員の指導が児童の行動に反映されている。教員と児童の信頼関係が築かれている。
 - ・グローバル・スタディの指導が充実している。コロナ禍で制限がある中、活動場面を工夫した授業が行われ、児童が力をつけている。
- (3) 生活指導について
 - ・「はい」「ありがとうございます」など、あいさつや返事がしっかりできている。引き続きあいさつができる児童に育ててほしい。
 - ・「あかるく」の各質問において、児童はAの割合が多く、教職員はBの割合が多い。教職員も自信をもって指導を行えるよう、相談体制の充実を図り、児童の明るくやさしい心の育成を進めてほしい。
 - ・健康や安全に対する児童の意識向上に努めている。保健指導や安全指導、食育を充実させ、基本的な生活習慣づくりや健康な体づくりを推進してほしい。
- (4) 家庭・地域との連携について
 - ・価値観が多様化している。学校と家庭・地域の価値観のずれが生じないよう、引き続き三者で共通理解を行い、児童の育成に当たってほしい。
 - ・昨年度末から引き続き、新型コロナウイルス感染症に対する様々な対応をよく行っている。児童や家庭の様子の変化に気をつけながら、今後も対応して欲しい。

よりよい「つばさ小学校」を目指して ～改善に向けたアクション～

1

つばさ小学校は、校内研修や教材研究の質を高めて授業改善に努め、児童に分かりやすい授業を展開し、児童の学習意欲、向上心を高め、学力の向上を目指します。

2

つばさ小学校は、授業や行事、その他の教育活動で友達や人、自然、ものと豊かにかかわる体験活動を充実させ、児童の豊かな心や学校・地域への愛着心をはぐくみます。

3

つばさ小学校は、家庭、地域と「つばさ小学校いじめ防止基本方針」「つばさっ子のやくそく」等の共通理解・共通指導を行い、児童の規範意識や安全意識を高めるとともに、子どもが発するサインを見逃さず、迅速かつ組織的に対応し、安心・安全な学校づくりを推進します。

4

つばさ小学校は、学校公開や情報発信を充実させ、学校の様子、子どもたちの様子についての情報を家庭・地域に積極的に発信します。

令和 2 年度 さいたま市立つばさ小学校 自己評価書

校長 高田 信太郎



1 学校で設定した「令和 2 年度の目標」及び関係する「評価項目」について

- (1) 「新さいたま市の授業づくり」に基づいた授業実践を通して、教員の授業力向上と児童の確かな学力の向上を図る。「教員の授業力・児童の学力」
- (2) 働き方改革や業務改善を進め、協働体制のもと教職員一人ひとりが自信をもって職務に取り組める学校組織づくりを推進する。「学校の組織運営」
- (3) 生徒指導や教育相談を充実させ、いじめ・不登校への適切な対応を実践し、児童が楽しく学校生活を過ごせる環境づくりを進める。「児童の安心安全」
- (4) 地域行事への参加や Web ページ等での積極的な情報発信、学校公開等の実施を通して、地域に開かれた学校づくりを推進する。「家庭・地域との連携」

2 評価結果について

- (1) 「教員の授業力・確かな学力」においては、児童・保護者アンケートの結果、「授業の内容理解」「指導法の工夫」等について児童 96%、保護者 94%が好評価であった。新型コロナウイルス感染症による臨時休校等の影響が心配されたが、「学習への意欲」「思考力、表現力の育成」についても児童・保護者ともに 90 パーセント以上の好評価であった。新学習指導要領の全面実施に伴い、指導、評価について教員内で共通理解を図りながら新さいたま市の授業づくりに基づいた授業実践を推進し、児童の学力向上に努めた成果が表れたと考えられる。
- (2) 「学校の組織運営」においては、教職員アンケートの結果、「学校教育目標の具現化に向けた協力協働」について 98%が好評価であった。また、在校時間調査において月当たりの時間外勤務時間の平均が 35 時間程度となっており、定時退勤日の導入、会議時間の短縮や校務の効率化等を意識した働き方の成果が表れたと考えられる。
- (3) 「児童の安心安全」においては、児童・保護者アンケートの結果、「学校生活が充実して楽しい」について児童 95%、保護者 97%が好評価であった。「つばさ小学校いじめ防止基本方針」及び「児童生徒の心のサポート手引き」に則ったいじめ案件への組織的対応、児童、保護者からの相談や教職員から挙げられた配慮を要する児童についての相談等について適切に SC、SSW を活用し、専門機関等と連携した教育相談等の成果が表れたと考えられる。
- (4) 「家庭・地域との連携」においては、保護者アンケートの結果、「地域に根差した学校づくり」については 95%、「学校からの情報発信」については 91%が好評価であった。新型コロナウイルス感染症による臨時休校に関連する内容や行事の変更、中止等に関する内容の情報の発信方法とその速さについては、さらに迅速、適切に行う必要があると考えられる。一方で、PTA をはじめとする地域の方々と連携を図りながら、今年度の状況に即した内容で実施できた活動等があり、成果につながれたと考えられる。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

- (1) コロナウイルス感染症による臨時休校等から、急速に進んだ GIGA スクール構想や、さいたま市 STEAMS 教育の研究委嘱についての教育校内研修や日々の授業を通して、「新さいたま市の授業づくり」に基づいた授業実践を推進する。
- (2) 家庭・地域と学校が目標やビジョンを共有し連携・協働するよう、開かれた学校づくりを進めていく。

令和2年度 さいたま市立つばさ小学校 学校関係者評価書

さいたま市立つばさ小学校

学校関係者評価委員長 畔川 清和



1 学校関係者評価の実施体制

(1) 構成人数

10人

(2) 実施回数

3回(6月6日、11月21日、2月26日)

2 学校関係者評価(学校関係者評価委員の意見等)

(1) 児童の様子について

- 各教室で児童が安心して学習に取り組んでいる。落ち着いた雰囲気の中で学校生活を送れている。
- 切り替えが早い。自分がやるべきことが分かり、行動できている。

(2) 学習指導について

- 教員の指導が児童の行動に反映されている。教員と児童の信頼関係が築かれている。
- グローバル・スタディの指導が充実している。コロナ禍で制限がある中、活動場面を工夫した授業が行われ、児童が力をつけている。

(3) 生活指導について

- 「はい。」「ありがとうございます。」など、あいさつや返事がしっかりできている。引き続きあいさつができる児童に育ててほしい。
- 【明るく】の各質問において、児童はAの割合が多く、教職員はBの割合が多い。教職員も自信をもって指導を行えるよう、相談体制の充実を図り、児童の明るくやさしい心の育成を進めてほしい。
- 健康や安全に対する児童の意識向上に努めている。保健指導や安全指導、食育を充実させ、基本的な生活習慣づくりや健康な体づくりを推進してほしい。

(4) 家庭・地域との連携について

- 価値観が多様化している。学校と家庭・地域の価値観のずれが生じないよう、引き続き三者で共通理解を行い、児童の育成に当たってほしい。
- 昨年度末から引き続き、新型コロナウイルス感染症に対する様々な対応をよく行っている。児童や家庭の様子の変化に気を付けながら、今後も対応して行ってほしい。

学校関係者評価を受けた学校の対応

(1) 学習指導の充実

- 新さいたま市の授業づくりにおける「よい授業」の実践を推進し、授業改善に継続して取り組み、教員の指導力と児童の学力の向上に努める。
- 算数科の研究のまとめにより培った授業力を生かしながら、さいたま市 STEAMS 教育の視点に着目した主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善に取り組み、児童の思考力・判断力・表現力を育成する。

(2) 生活指導の充実

- 悩みを相談し、解決するスキルを学ぶ授業の充実、校内人材の活用、教育相談週間・月間の充実等、教育相談体制の充実を図り、児童の悩みの早期発見・早期解決により一層努める。

(3) 地域との連携の充実

- 新型コロナウイルス感染症の状況等に応じ、公開方法や情報発信について工夫していく。今後の状況に対応しながら、地域のよさを学ぶ機会や学校や地域への愛着や誇りをもつ児童をはぐくむ指導の工夫をしていく。

さいたま市立つばさ小学校長 高田 信太郎

